



## みんなで学ぼう 身近な病気とケガの手当て ～子どもの誤飲編～

### ◎ 誤飲

誤飲とは、食べ物以外のものを誤って飲み込むことをいいます。

#### 〈誤飲の原因〉

小さな子どもは、手にしたものを口に入れる行動をします。これは子どもの成長の発達段階では、とても必要な行動です。しかし、洗剤などの家庭用品、薬品類、おもちゃや硬貨などの身の回りにある様々なものを誤って飲み込んでしまうことがあります。

- 誤飲による事故は、生後6ヶ月から5歳以下の子どもに多い。
- 誤飲事故が起きやすい時間帯は、午後5時～午後10時頃。

#### 〈子どもが物をのどにつまらせたときの応急処置〉

- ① 背中を叩く（背部叩打法）  
片腕に乳児をうつ伏せにして乗せる。手のひらであごを支えながらもう一方の手のひらのつけ根で背中をしっかりと叩く。  
（5、6回を1セット）
- ② 胸部を圧迫する（胸部突き上げ法）  
乳児をあお向けにし、片手で乳児の体を支えながら手のひらで後頭部をしっかりと押さえ、心肺蘇生法と同じやり方で胸部を圧迫する。（5、6回を1セット）
- ③ 突き上げ法（ハイムリック法・・・1歳以上の場合）  
背後から両腕を回して、片方の手を握りこぶしにし子どものみぞおちの下に当てて、もう片方の手をその上に当て両手で腹部を上を圧迫する。（これを繰り返す）



#### 〈誤飲かな？と疑わしいとき〉

- 咳込んでいる → 気管に入ったかもしれない → 背中を叩いて吐き出させる
- よだれが出ている（吐き気など） → 食道や胃に入った可能性がある  
→ 飲んだものによって対処する

## ◎ 誤飲物別 応急処置法（主なもの）

医師の診察を受けるまでに家庭で行う応急処置として吐かせたり、牛乳・水を飲ませたりすることで毒性を緩和できることがあります。しかし飲み込んだものによっては吐かせてはいけない場合もあります。下の表を参考に適切な処置をして下さい。

誤飲物	吐かせる	牛乳	水	注意点
防虫剤 ナフタリン	○	×	○	消化管から吸収を促してしまうため 牛乳は飲ませない
灯油 ガソリン	×	×	×	肺に入ることがあるので 吐かせず、飲ませず病院へ
殺虫剤	×	×	×	毒性が強いため吐かせず、飲ませず病院へ
マニキュア 除光液	×	×	×	揮発しても毒性が強いため 吐かせず、飲ませず病院へ
漂白剤 カビ取り剤	×	○	○	吐かせると粘膜がただれるため 飲ませて、毒性を薄め病院へ
ボタン電池 乾電池	×	×	×	食道に引っかかる可能性があるため 吐かせず病院へ
画びょう くぎ	×	×	×	食道や気管を傷つけるおそれがあるため そのまま病院へ
医薬品	○	○	○	病院に対処法を問い合わせたうえで対応
タバコ	○	×	×	牛乳、水などはニコチンが溶け出すので 飲ませず、吐き出させて病院へ
ティッシュ	△	○	○	のどにつまらせて窒息する可能性がある あるので吐かせない
シャンプー リンス	○	○	○	大量に飲み込んだ場合は、吐かせて病院へ
硬貨 ボタン ビーズ	○	○	○	完全に飲み込んだ場合は、様子を見る のどに詰まらせた場合は、吐かせて病院へ

- ※ 病院受診の際、可能なら飲み込んでしまった物の現物を、持参してください。
- ※ 小さな部品など、子どもが口に入れて危険なものは子どもの手が届かない場所に片付けましょう。

### 《相談窓口紹介》

神奈川県医師会中毒情報相談室 ☎045-262-4199（365日 24時間対応）

